

# がん相談支援センター

## Plan 計画

- 1 相談の質の向上  
(相談者の困りごとの本質を見極め、困りごとに対する術や情報を共有できる。相談員間で起きている課題の共有や解決法の情報共有ができる。)
- 2 院内周知と院外への広報の強化(適切な相談窓口につながる人が増える。院内外の医療従事者ががん相談支援センターの役割を知っている。)
- 3 就労支援の強化(仕事と治療の両立支援)
- 4 情報提供と患者同士の交流の場の確保(患者同士の交流や情報交換の場がもてる)

## Do 実行

- 1-1 がん相談員の知識向上に関する研修・セミナーに参加し、相談員間で情報を共有しアップデートする。
- 1-2 病院の患者満足度調査と一緒に当センターについての患者アンケートを実施する。
- 2-1 院内委員会とeラーニングで全職員に広報する。
- 2-2 広報資料を作成し院内外の関係各所に配布する。
- 3-1 ワーキングサポートの開催。
- 3-2「仕事とがん治療の両立お役立ちノート」などの活用。
- 4 がん患者セミナー&カフェの開催  
※3と4の開催は感染状況に合わせてハイブリット化への検討を考える。

## Action 改善

- 1 相談者の反応から得たニーズを共有し、質の向上に努める。
- 2 広報活動による効果測定を行い、改善を図る。
- 3・4 評価をもとに検討し、開催内容を改善する。

## Check 評価

- 1 相談者の反応や当センターの患者アンケートの評価・分析。
- 2 利用者に当センターの周知機会を聴取する。
- 3 ワーキングサポートの前後にアンケートを実施。開催後に運営・プログラムを評価する。
- 4 患者セミナー&カフェ参加者に事後アンケートを行う。開催後に運営評価を行う。